

1 学年 2 組 国語科学習指導案

児童 男子 14名 女子 12名 計 26名
 指導者 根子 幸子

- 1 単元名 くらべてよもう
 学習材 「じどう車くらべ」(光村図書1年)

《付けたい力》

- ◎ 大事な言葉や文、事柄の順序などを考えながら読み、内容の大体を読むこと。
 (読イ・エ)
 ○ 語と語や文と文との続き方に注意しながら、つながりのある文や文章を書くこと。
 (書ウ)

「じどう車えほん」をつくる。

2 単元について

(1) 児童について

児童は、「くちばし」で説明的文章を初めて学習し、「問い」と「答え」の文型を学んできた。学習を通して、挿絵と文を照らし合わせながら書かれていることの大体を読み取る経験もしてきた。しかし、平仮名の読み書きや大事な文や言葉を見つけることが困難な児童もいる。また、書かれている事柄の順序を考え、内容の大体を理解して表現することについては個人差が大きい。そこで、個別の声かけや支援をし、意欲的に学習に取り組ませたい。

(2) 学習材について

学習材である「じどう車くらべ」は、児童にとって身近な自動車の「しごと」と「つくり」の関係について述べている説明的文章である。まず、自動車についての話題に始まり、問いがあって、それに対する三つ(四つ)の自動車の具体例を挙げ説明していく列挙型の構成となっている。「どんなしごとをするのか」、そのために「どんなつくりになっているのか」という2つの問いが、学習材を貫く読みの観点となる。この問いの答えに当たる自動車の具体例である3つの意味段落は、それぞれに内容が「しごと—つくり—つくり」の順序になっており、分かりやすい文章構成になっている。また、「しごと」と「つくり」が「そのために」という言葉でつながっており、それぞれの自動車の「しごと」のための「つくり」になっているという関係性を読み取ることができる文章である。

(3) 指導について(研究内容との関わり)

① 単元全体を通した、やる気が持続する課題(言語活動)の設定

「くちばし」の学習で、児童は内容を読み取りながら自分だけの「くちばしえほん」を作る活動をしてきており、単元を通して意欲をもって学習し続けることができた。本単元でも、「自分の『じどう車えほん』を作ろう」という課題(言語活動)を設定し、児童が単元を通して意欲的に学習し続けることができるようにしたい。

② 友だちに伝え教え合う「喜び」と課題を解決するための必要感をもった対話の設定

児童は自分の作品ができると、その作品を見てもらいたいと思う。この単元でも自分が書いた「じどう車カード」を読んでもらう「喜び」を感じながら、(1)それぞれのじどう車について自分が書き抜いた「しごと」と「つくり」を伝え合い、確かめ合う「対話」と、(2)課題を解決するために、全体で考え話し合う「対話」を設定する。

③ 「ふりかえりシート」を用いることで、学びの自覚を促す工夫

単元を通して用いる「ふりかえりシート」には、◎○△の三段階自己評価と「できたこと」「わかったこと」などを書くようにすることで、児童が毎時間の努力や成果、達成感を実感できるようにし、指導者はそれを見取ることができるようにする。

3 単元の指導目標

- 自動車について説明されている絵本や図鑑，文章などを読み，進んで調べようとする。
【関心・意欲・態度】
- ◎ 大事な言葉や文，事柄の順序などを考えながら読み，内容の大体を捉える。
【読むこと】
- 「そのために」を使って文と文をつなぎ，自動車の「しごと」と「つくり」を説明する文章を書くことができる。
【書くこと】
- 長音・拗音・促音などの表記や，句読点を適切に用いて書くことができる。
【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

4 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	言語についての 知識・理解・技能
自動車について説明されている絵本や図鑑，文章などを読み，進んで調べようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事柄の順序を考えながら読み，内容の大体を捉えている。（読イ） ・ 本や文章の中から，大事な言葉や文を書き抜いている。（読エ） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「そのために」を使って文と文をつなぎ，自動車の仕事と作りを説明する文章を書いている。（書ウ） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長音・拗音・促音などの表記や，句読点を適切に用いて書いている。（言イ(エ)(オ)）

5 単元の指導計画・評価規準（全12時間）

次	学 習 活 動	○主な指導上の留意点 ◆評価規準 <評価方法>
一	① 「じどう車くらべ」を読み，文章について興味をもち，学習の見通しをもつ。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教材文を読み，初めて知ったことやおもしろいと思ったことなどを発表する。 ・ 学習の見通しを持つ。（「じどう車えほんをつくろう。」「じどう車の『しごと』と『つくり』を調べよう。」） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ P35を見せ，じどう車えほんづくりへの意欲を持たせるようにする。 ○ そのために，P32のように，「しごと」と「つくり」を調べる見通しを持たせるようにする。 ◆ 自動車について知っていることを話したり聞いたりして絵本作りに関心を持ち，自動車に関する本や文章を読もうとしている。 【関・意・態】<発言・態度>
	② 文章構成をつかむとともに，片仮名を覚える。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 通読する。 ・ 文章構成を確かめる。 ・ 片仮名の読み方や書き方を覚える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ページごとに挿絵と文章を照らし合わせて読むようにする。 ○ 全文を掲示し，話題提示と3つ（4つ）の自動車の具体例による構成をとらせるようにする。 ◆ 「問い」の文と3つ（4つ）の自動車について書かれていることを読み取り，文章構成をつかんでいる。 【読イ・エ】<ワークシート>
二	③ バスと乗用車の「しごと」と「つくり」を読み取り，書き抜く。 <ul style="list-style-type: none"> ・ バスと乗用車の「しごと」と「つくり」を読み取り，サイドラインを引く。 ・ じどう車カードに書く。 ・ 感想を発表し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書に線を引きながら「しごと」と「つくり」の関係を整理するようにする。 ◆ バスと乗用車の「しごと」と「つくり」を書き抜き，内容の大体を読み取っている。 【読イ・エ】<じどう車カード>
	④ トラックの「しごと」と「つくり」を読み取り，書き抜く。 <ul style="list-style-type: none"> ・ トラックの「しごと」と「つくり」を読み取り，サイドラインを引く。 ・ じどう車カードに書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前時のように，教科書に線を引きながら「しごと」と「つくり」の関係を整理するようにする。 ◆ トラックの「しごと」と「つくり」を書き抜き内容の大体を読み取っている。 【読イ・エ】<じどう車カード>

	<ul style="list-style-type: none"> 感想を発表し合う。 	
	<p>⑤ クレーン車の「しごと」と「つくり」を読み取り、書き抜く。</p> <ul style="list-style-type: none"> クレーン車の「しごと」と「つくり」を読み取り、サイドラインを引く。 じどう車カードに書く。 感想を発表し合う。 	<p>○ 前時のように、教科書に線を引きながら「しごと」と「つくり」の関係を整理するようにする。</p> <p>◆ クレーン車の「しごと」と「つくり」を書き抜き、内容の大体を読み取っている。</p> <p>【読イ・エ】 <じどう車カード></p>
	<p>⑥ はしご車の「しごと」と「つくり」を、資料から見つけて、書き抜く。〈本時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> はしご車について、ワークシートに「しごと」と「つくり」を使って書く。 	<p>○ P33の挿絵と図鑑の資料をもとに、「しごと」と「つくり」を見つけ、資料にサイドラインを引き、ワークシートに書き抜くようにする。</p> <p>○ 「しごと」に合った「つくり」になるよう、選んで書き抜くようにする。</p> <p>◆ はしご車の「しごと」と「つくり」を見つけて、書き抜くことができる。</p> <p>【読エ】 <ワークシート></p>
	<p>⑦ はしご車の「しごと」と「つくり」をじどう車カードに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> はしご車の「しごと」と「つくり」の表現を見直し、必要に応じて直す。 絵を描く。 	<p>○ 前時のワークシートをもとに、じどう車カードに書くようにする。</p> <p>◆ はしご車の「しごと」と「つくり」をじどう車カードに書いている。</p> <p>【書ウ】 <じどう車カード></p>
三	<p>⑧ 図鑑を読み、自分の書きたい自動車を見つける。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動車の本や図鑑を読み、書きたい自動車を選び、詳しく読む。 	<p>○ 同じシリーズの図鑑から、自分の書きたい自動車を見つけるようにする。</p> <p>◆ 自動車の絵本や図鑑を読み、進んで調べようとしている。</p> <p>【関・意・態】 <発言・態度></p>
	<p>⑨ 選んだ自動車の「しごと」と「つくり」を、資料から見つけて書き抜き、文に表す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 選んだ自動車について「しごと」と「つくり」をワークシートに書き抜く。 じどう車カードに書く。 	<p>○ 自分の書きたい自動車の「しごと」と「つくり」について、資料にサイドラインを引き、ワークシートに書き抜き、「じどう車カード」にかくようにする。</p> <p>◆ 選んだ車の「しごと」と「つくり」を書き抜き、文に表している。</p> <p>【読エ】【書ウ】 <ワークシート></p>
	<p>⑩ 選んだ自動車についての絵をカードに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「しごと」と「つくり」の表現を見直し、必要に応じて直す。 絵を描く。 	<p>○ 選んだ自動車について、「しごと」と「つくり」を「そのために」を使って書いているか、書き出し、句読点は正しく書けているか、読み直すようにする。</p> <p>◆ 選んだ車について、書いた文を読み直している。</p> <p>【書ウ】 <じどう車カード></p>
	<p>⑪ 表紙等をつけて、「じどう車えほん」を完成させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> じどう車カードの順番を考える。 表紙を書く。 自分の自動車絵本を完成させる。 	<p>○ 教科書に出てくる自動車の順番について考えるようにする。</p> <p>◆ 教科書に出てくる自動車の順番について考え、自分のカードも加えて絵本にまとめる。</p> <p>【読イ】 <発言・態度・絵本></p>
	<p>⑫ 出来上がった「じどう車えほん」を読み合い、感想を伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 同じ自動車を選んだグループごとに絵本を読み合い、感想を伝え合う。 	<p>○ あらかじめ、グループを考えておく。</p> <p>○ 自分と似ているところ、違うところに気づくようにする。</p> <p>○ 友だちのよさを見つけ伝え合うようにする。</p>

<ul style="list-style-type: none"> 自分と違う自動車を選んだグループごとに読み合い，感想を伝え合う。 学習を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 友だちの「じどう車えほん」を「しごと」と「つくり」を考えながら読み，感想を伝えようとしている。 <p style="text-align: right;">【読イ】 <発言・態度・絵本></p>
--	---

6 本時の指導

(1) 目標

はしご車の「しごと」と「つくり」を見つけて，書き抜くことができる。

【読エ】

(2) 展開

学習活動	・指導上の留意点 ◆評価〈評価方法〉
1 前時までの学習を想起する。	<ul style="list-style-type: none"> バスと乗用車，トラック，クレーン車の「しごと」と「つくり」を読み取ったことを想起する。
2 本時の学習課題をつかむ。	<ul style="list-style-type: none"> P33の文からはしご車の「しごと」と「つくり」を見つけることを確かめる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> はしご車の「しごと」と「つくり」を見つけて，ワークシートにかこう。 </div>	
3 学習の見通しをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> 学習のゴール，学習内容，学習プロセスを確認し，どの子も主体的に学習に関わることができるようにする。
4 学習課題を解決する。 (1) はしご車の「しごと」を見つける。 (2) はしご車の「つくり」を見つける。 (3) ワークシートに「しごと」と「つくり」を書き抜く。 (4) 友だちと確かめ合う。 (5) 全体で交流する。	<ul style="list-style-type: none"> 図鑑のどこに「しごと」と「つくり」が書かれているのかを検討をつけさせる。 前時の学習を振り返り，同様に取り組むことを確かめる。 ① 「しごと」の文に①—線を引く。 ② 「つくり」の一文目に①②—線を引き，二文目に②③—線を引く。 見つけた「つくり」がどの部分のことをいっているのか挿絵に○を付ける。 児童からでた「しごと」と「つくり」をカードに書き，黒板に掲示することで「しごと」と「つくり」のつながりを確認できるようにする。 サイドラインをもとに，「しごと」と「つくり」をワークシートに書き抜く。 ペアで交流させ，自分の選んだ「しごと」と「つくり」が書き抜けているか確認し合う。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ◆ はしご車の「しごと」と「つくり」を見つけて，書き抜くことができる。 【読エ】〈ワークシート〉 </div>
5 本時学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> 振り返りシートを書き，自分の学びを自覚することができるようにする。
6 次時の学習を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 次時は，じどう車カードに書くことを伝え，意欲付けを図る。

(3) 評価

評価規準 (評価方法)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ はしご車の「しごと」と「つくり」を見つけて，書き抜くことができる。 <p style="text-align: right;">【読エ】〈ワークシート〉</p>
記述例	<ul style="list-style-type: none"> はしご車は，たかいところのひをけすしごとをしています。そのため，ながいはしごがついています。車たいがかたむかないように，じょうぶなあしもついています。